

「出雲市消防団改革推進委員会」の最終答申について

出雲市消防団改革推進委員会が令和3年8月4日に市長から諮問を受けた事項について、令和5年2月6日に提出された最終答申の概要は下記のとおりです。

記

I 消防団員確保等に関すること

1. 適正な報酬・手当

出雲市消防団の適正な報酬・手当については、令和3年11月29日に中間答申が提出された。

(1) 年額報酬について

現行

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年額報酬(円)	70,000	50,000	38,000	29,000	25,000	22,000	17,500

答申



階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年額報酬(円)	80,000	65,000	50,000	43,000	40,000	37,000	36,500

(2) 出場報酬について

現行

消火活動	火災現場における警戒	訓 練	その他
1回4時間 3,700円 以後4時間毎に回数加算	1回8時間 3,700円 以後8時間毎に回数加算	1回 3,700円	1回 3,700円

答申



災害（水火災及び地震等）に関する出場	訓 練		その他	
	8時間まで 8,000円 以後4時間毎に 4,000円を加算	火災現場における警戒、 火災原因調査、捜索	1日当たり 3,700円	1日当たり 3,700円
	4時間まで 4,000円 以後4時間毎に 4,000円を加算			

(3) 報酬等の支給方法について

消防団員個人に対し、市から直接支給すべきである。

(4) 消防団の運営に必要な経費について

市において適切に予算措置することが適当である。

【経過】

- ・(1)、(2)については、令和5年4月1日から改定の手定
- ・(3)、(4)については、本年度から実施

## 2. 団員の負担軽減

- (1) 実務に即した訓練の充実を図るとともに、操法訓練のあり方を見直すこと。
- (2) 各種行事内容のスリム化や参加団員の分散化など、方法を見直していくこと。
- (3) 団員の事務負担軽減を図るため、消防団事務のデジタル化を推進すること。

## 3. 魅力的な団活動

団員個々の知識・技能の習得に必要な教育の充実を図ること。

## 4. 地域、雇用者の理解・協力

- (1) 消防団活動に対する市民の認識・理解を得るため、地域活動に積極的に参加すること。
- (2) 企業や事業所等に対し消防団活動への協力と理解を働きかけるとともに、消防団協力事業所について市民に広くPRすること。

## 5. 戦略的広報活動

### (1) 消防団員の加入促進広報

- ア 消防団員になることへのメリットを掲げること。
- イ それぞれの対象に的を絞った広報を行うこと。
- ウ 消防団のイメージアップを図ること。

- (2) 将来の担い手育成のため、子どもの頃からの防災教育の充実を図ること。

## 6. その他

- (1) 必要な装備については、市において適切に配備すること。
- (2) 団員に対する補償制度の充実を図ること。
- (3) 消防団応援事業の充実を図ること。

## II 消防団組織の将来のあり方について

### 1. 地域防災力を考慮した組織再編

- (1) 出雲市消防団は、次の団員をもって構成する。
  - ア 基本団員
  - イ 大規模災害対応団員
  - ウ その他の機能別団員
- (2) 基本団員の定員数は、一定の基準を設け見直すこと。
- (3) 基本団員とは別に大規模災害時に活動する団員を確保すること。
- (4) 分団相互応援体制を構築すること。
- (5) 災害対応時の地域防災と消防団の協力体制を強化しておくこと。

### 2. 機能別消防団員制度の推進と女性消防団員の拡充

- (1) 多様な住民が消防団活動に参画できるよう、機能別消防団員制度を積極的に推進していくこと。
- (2) 女性団員の採用を推進するとともに、その活躍について広く市民に周知すること。また、女性団員が活動しやすい環境を整備すること。

## その他

### 1. 委員会の開催状況

会議	開催日	会場	主な内容（議題）
第1回	令和3年8月4日（水）	庁議室	委嘱状交付 諮問書の交付 委員会の目的と検討事項について 出雲市消防団の現況について
第2回	令和3年9月28日（火）	消防本部	消防団員の適正な報酬・手当について
第3回	令和3年11月11日（木）	消防本部	消防団員の適正な報酬・手当について 中間答申（案）について 消防団組織の将来のあり方について
第4回	令和4年3月15日（火）	消防本部	消防団組織の将来のあり方について
第5回	令和4年5月26日（木）	消防本部	消防団組織の将来のあり方について
第6回	令和4年7月28日（木）	消防本部	消防団組織の将来のあり方について
第7回	令和4年10月3日（月）	消防本部	消防団組織の将来のあり方について 消防団員確保等に関する事
第8回	令和4年11月16日（水）	消防本部	消防団員確保等に関する事
第9回	令和5年1月12日（木）	消防本部	答申書（案）について

### 2. 出雲市消防団改革推進委員会 委員及び助言者名簿

役職	氏名（敬称略）	組織・役職等
委員長	森山 靖夫	元出雲市消防長
副委員長	亀滝 和利	元出雲市消防団 副団長
委員（五十音順）	石飛 孝夫	出雲市消防団 副団長
〃	大場 利信	出雲市議会議員
〃	小村 貞雄	元出雲地域自治協会連絡協議会会長
〃	佐藤 康弘	JAしまね出雲地区本部 企画総務部総務課長
〃	高橋 義孝	斐川地域自治協会連合会 会長
〃	竹田 豊	出雲市消防長
〃	中尾 留美	消防団員の家族
〃	錦織 孝司	今市分団 分団長
〃	本郷 創也	平田第4方面隊 方面隊長
〃	水師 幸夫	大社地域自治協会連合会 会長
〃	森山 賢次	防災安全部次長兼防災安全課長
〃	森脇 都多江	出雲市男女共同参画センター 所長
〃	山岡 尚	出雲商工会議所 専務理事
助言者	永田 尚三	関西大学社会安全学部 教授

上記委員の任期は本年度末までであり、来年度は新たな委員を選出し、引続き出雲市消防団の改革に必要な課題の解決策等について検討いただく。